

アビスパ福岡株式会社について

令和7年6月

# 目 次

I	法人の概要	・ ・ ・ ・ 1
	1 法人の概要	
	2 組織	
II	事業報告	・ ・ ・ ・ 3
III	決 算	・ ・ ・ ・ 4
	1 損益計算書	
	2 株主資本等変動計算書	
	3 貸借対照表	
IV	事業計画（方針）	・ ・ ・ ・ 7

## I 法人の概要

### 1 法人の概要

(1) 法人名 アビスパ福岡株式会社

(2) 主要な事業内容

サッカーの興行、サッカースクールの運営、サッカー指導者の育成及び  
プロサッカーチームに関する各種オリジナルグッズの販売

(3) 設 立 平成6年9月29日

(4) 資本金 442,309千円 (令和7年1月31日現在)

(5) 本市出資の目的

Jリーグの地域に根ざしたホームタウン制により、本市のスポーツ文化  
の振興、青少年の育成及び地域経済の活性化を目的として出資

### 2 組織

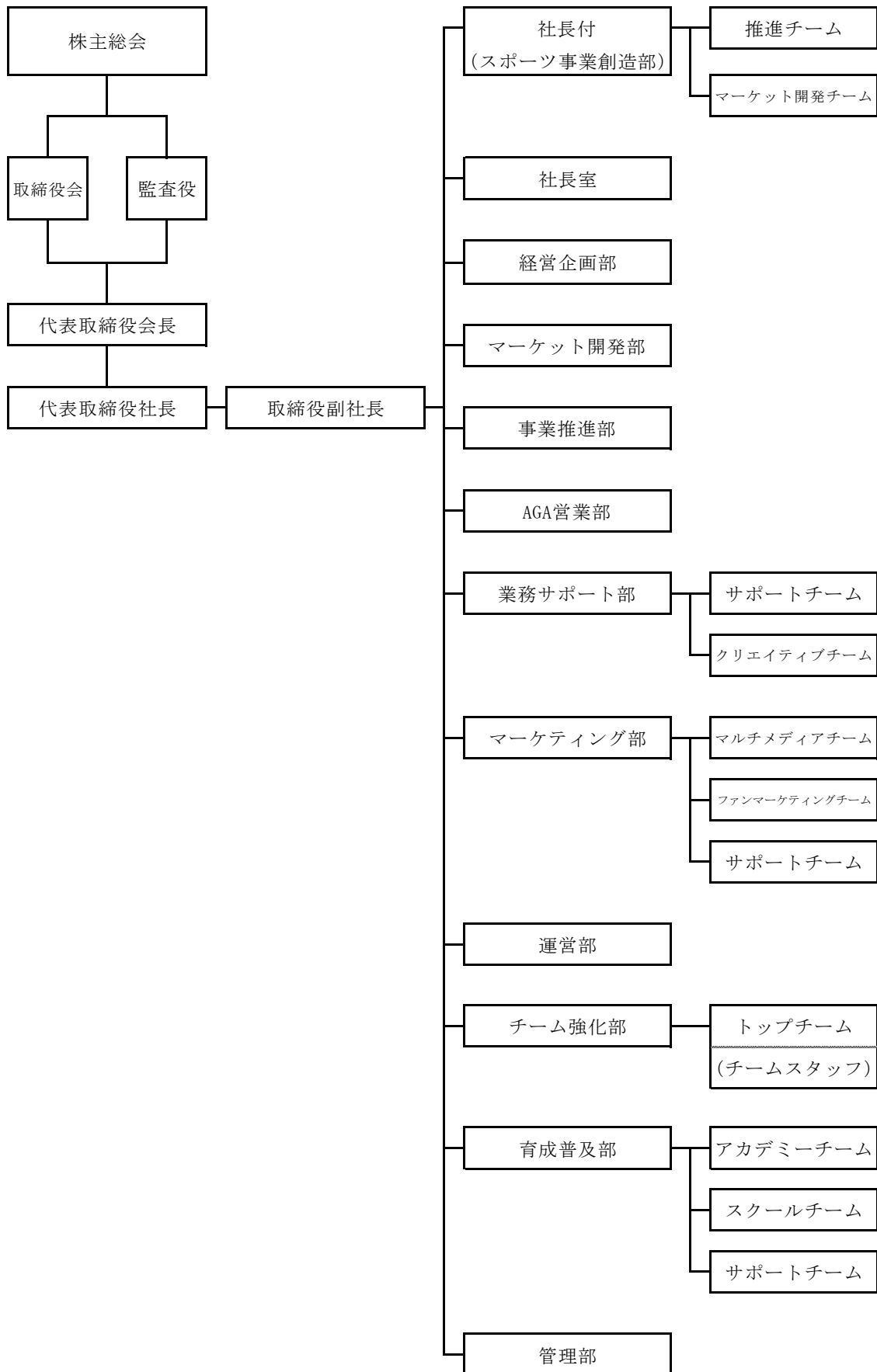
(1) 役員名簿

(令和7年4月24日現在)

役 職	氏 名	備 考
代表取締役会長	川 森 敬 史	Apaman Network 株式会社 取締役副会長
代表取締役社長	結 城 耕 造	
取締役副社長	立 石 敬 之	シント＝トロイデン VV CEO
取 締 役	吉 尾 春 樹	株式会社システムソフト 代表取締役会長
取 締 役	廣 塚 浩 一 郎	株式会社エイジェックグループ 執行役員 九州支社 支社長 株式会社アスリートマガジン 代表取締役社長
取 締 役	柴 田 亮 二	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 ベンディング九州／中四国営業統括本部 ベンディング九州営業地区統括部長
取 締 役	河 津 真 樹 子	福岡市 市民局 理事
取 締 役	樋 口 和 光	九州電力株式会社 常務執行役員 ビジネスソリューション統括本部 地域共生本部長
取 締 役	堺 成 司	株式会社西日本新聞社 執行役員 メディア戦略局長
取 締 役	恒 松 孝 二	株式会社九電工 理事 人事労務部 九電工アカデミー学長
取 締 役	川 原 武 浩	株式会社ふくや 代表取締役社長
取 締 役	村 中 悠 介	合同会社 DMM.com COO 合同会社 EXNOA (DMM GAMES) CEO
取 締 役	渡 邊 誠	株式会社プロスタッフ 代表取締役 渡邊誠公認会計士事務所 公認会計士
監 査 役	土 田 裕 章	株式会社福岡銀行 総務部長
監 査 役	滝 本 英 明	株式会社西日本シティ銀行 総務部長

(2) 組織図

(令和7年4月24日現在)



## II 事業報告（令和6年2月1日から令和7年1月31日まで）

2024シーズン、地元福岡の経済界・自治体、SOCIO会員及びアビスパ・グローバル・アソシエイツ（AGA）よりクラブ経営全般に及ぶ継続的な支援があり、今期のスポンサー社数は、前期の853社から79社増加し932社となった。

入場者数については、1試合当たりの平均入場者数が前期8,722人から今期9,698人へ増加し、年間入場者数は18万4千人となった。

グッズ収入については、ルヴァンカップ優勝のタイトルを示す星が初めてついたオーセンティックユニフォームの販売が堅調に推移したことで、前期2億6千5百万円から今期2億7千3百万円と増加し、4期連続で最高額を更新した。

チームについては、長谷部監督のもと4年目のJ1リーグに臨んだ結果、12位でシーズンを終え、4年連続でJ1リーグの残留を決めた。

育成普及部門のアカデミーについては、選手の健全な育成と安全を念頭に置き、U-18のプレミアリーグ昇格と、各年代の大会優勝を目指して日々のトレーニングや海外遠征を積み重ね、今期は夏の日本クラブユース選手権大会（U-18）でベスト4に入り、目標としていたU-18のプレミアリーグ昇格を果たした。また年代別の日本代表及び候補に数名が選出され、トップチームへの昇格者を2名輩出した。スクールについては、前期のスクール生徒人数1,291人から今期1,254人に減少したが、チアスクールを含め全23校で地域に密着した事業運営に取り組んだ。

ホームタウン推進活動については、年間延べ2万人を超える方々に参加いただいております。コーチ派遣型の「アビススクール」のほか、ブラインドサッカー啓発活動や福岡都市圏と協働し健康教室等に取り組むとともに、フレンドリータウンは19の自治体と協定を締結する等、当クラブの経営理念である「子どもたちに夢と感動を」「地域に誇りと活力を」の実践を続けている。

こうした活動により、今期の売上高は、広告収入10億3千9百万円（対前期比10%増）、入場料収入6億9千8百万円（対前期比10%増）、その他の収入を加え、合計30億5千3百万円（対前期比6%増）となった。営業費用は、30億3千6百万円（対前期比2%増）となり、営業利益は1千6百万円、経常利益は1千3百万円、当期純利益は1千万円となった。

来期はクラブ創設30周年のシーズンを飾るべく、サービス品質の向上と社会連携活動を軸に、広告収入、入場料収入をはじめ全事業増収に向けた取組みを継続し、クラブの経営安定化を図るとともに、J1上位を目指したチームづくりに取り組む。また、U-12からトップチームに至るまで「感動と勝ちにこだわる」AviSpa Styleを引き続き構築していく。

### Ⅲ 決算

#### 1 損益計算書（令和6年2月1日から令和7年1月31日まで）

（単位 千円）

科 目	金	額
売 上 高		3,053,033
売 上 原 価		2,705,123
売 上 総 利 益		347,910
販売費及び一般管理費		331,340
営 業 利 益		16,569
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	9	
そ の 他	37	47
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	2,561	
為 替 差 損	24	
そ の 他	55	2,641
経 常 利 益		13,975
特 別 利 益		
そ の 他 特 別 利 益	241	241
税 引 前 当 期 利 益		14,217
法人税、住民税及び事業税		3,988
当 期 純 利 益		10,229

※記載金額が千円未満非表示のため合計額が合わない場合がある。

## 2 株主資本等変動計算書（令和6年2月1日から令和7年1月31日まで）

（単位 千円）

	株 主 資 本				株主資本合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
前期末残高	383,296	292,306	161,760	△1,237,312	△399,949	△399,949
当期変動額						
増資	59,013	59,013			118,026	118,026
当期純利益				10,229	10,229	10,229
当期変動額合計	59,013	59,013		10,229	128,256	128,256
当期末残高	442,309	351,319	161,760	△1,227,083	△271,693	△271,693

※記載金額が千円未満非表示のため合計額が合わない場合がある。

### 3 貸借対照表（令和7年1月31日現在）

（単位 千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>536,812</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,025,646</b>
現金預金	259,272	短期借入金	40,458
売掛金	171,578	一年内返済長期借入金	60,704
商品	16,474	リース債務	2,863
仕掛品	37,019	未払金	217,789
前払費用	45,198	未払法人税等	8,297
貸倒引当金	△8,018	未払消費税等	28,447
その他	15,286	預り金	56,731
		前受収益	609,946
		その他	407
<b>固定資産</b>	<b>322,539</b>	<b>固定負債</b>	<b>105,398</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>197,164</b>	長期借入金	100,040
建物	195,635	リース債務	958
建物附属設備	91,821	その他	4,400
構築物	35,877		
工具器具備品	86,983	<b>負債合計</b>	<b>1,131,044</b>
土地	100,000		
リース資産	14,161	<b>(純資産の部)</b>	
減価償却累計額	△327,314	<b>株主資本</b>	<b>△271,693</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>125,374</b>	資本金	442,309
出資金	10	資本剰余金	
長期前払費用	125,177	資本準備金	351,319
その他	187	その他資本剰余金	161,760
		<b>利益剰余金</b>	
		その他利益剰余金	
		繰越利益剰余金	△1,227,083
		<b>純資産合計</b>	<b>△271,693</b>
<b>資産合計</b>	<b>859,351</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>859,351</b>

※記載金額が千円未満非表示のため合計額が合わない場合がある。

#### IV 事業計画（方針）

アビスパ福岡は、「子どもたちに夢と感動を」「地域に誇りと活力を」を基本理念とし、ホームタウン活動などを通じて、地域に根差した市民クラブを目指している。

今期は、クラブの経営の安定と、チームのさらなる上位を目指した体制づくりに加え、アカデミーサポート体制の強化及びスクール育成指導の質的向上を図るなど、市民クラブとして地域への奉仕と満足してもらえるサービスの提供にさらに努めていく。

また、クラブへ寄せられる様々な提案等を踏まえながら、来場者が快適に過ごせるスタジアム運営や、来場者数の増加に向けた各種施策に取り組んでいく。

今後も、ホームタウン活動を継続し、多くの方と関わりながら、アビスパ福岡が真の市民クラブとして、多くの市民に愛され、地域の誇りとなるよう、活動していく。